

## 公益財団法人 J K A 競輪補助事業による 2024 年度「福祉機器の整備」補助事業 自己評価

競輪補助事業に係る自己評価を行いましたので、下記のとおり公表します。

日時：2024 年 10 月 9 日（水） 10：00～10：30

場所：社会福祉法人一期一会福祉会 岩倉一期一会荘面会室

参加者：岩倉一期一会荘：萩岡荘長、長谷川、林、遠藤（担当者）

岩倉市介護相談員：村林様、戸田様

補助事業担当者より事業報告と、達成状況、具体的内容等の説明を行い、評価基準に基づいて参加者全員で採点を行った。（最高点は 5 点）

### 1. 事業内容

・予定通り予測型見守りシステム（Neos+Care）の見守りセンサーユニット 25 台を導入した。見積り合わせから導入まで順調に進み、当初の予定よりも早い 2024 年 9 月に納品・導入することができた。（4 点）

### 2. 達成目標

・当初、2024 年 12 月に導入、2025 年 1 月から使用開始を予定していたが、予定よりも早期に導入することができた。25 名の方に見守りセンサーを使用開始した。うち 1 名は見守りセンサーが気に入り、機器を外そうとされたため、使用を中止した。（3 点）

### 3. 情報発信

・2024 年 10 月 2 日に法人ホームページのお知らせに導入した見守りセンサーの紹介記事を掲載した。（4 点）

### 4. 自己評価の体制

・主任介護職員、副主任介護職員の出席が勤務都合上難しいため、事前に意見・評価をもらう形とした。（3 点）

### 5. 総合評価

・当初の計画より早く導入することとなったが、導入前にデモンストレーションを行っていたことで、想定よりもスムーズに対応することができた。これまでよりも早い段階で動作を検知、通知が入ること、リアルタイムで画像を確認することができるため必要のない訪室を避けられること等、利用者・職員双方の負担軽減に資することができるという感触を得ている。

- ・継続して使用し、データを集めていくことで、利用者の行動の傾向、生活サイクルを把握する材料の一つにすることができるというメリットがある。
- ・これまでの見守りセンサーよりも精度が高く、転倒等の事故リスクがある動作に絞って検知されるため、誤報・失報や反応すぎる、反応しないといったことがかなり減少している。(4点)

報告者 岩倉一期一会荘 副荘長 遠藤匡彦